

## 大学入学前課題

日本大学の付属推薦入試合格者や他大学の推薦入試などの合格者に対して、入学前課題を課している大学や学部が多くあります。そこで今回は「入学前課題はどんなものが出されているのか」ということを高3に聞いてみました。その調査結果の一部を以下に掲載しますので、是非参考にしてください。提出期限や提出方法についても、郵送やインターネットなど学部学科によって異なりますので、十分注意してください。

入学前課題について提出しないという選択は入学者としては絶対にあってはならないことですが、遅滞した場合には学部や学科から高校や直接家庭に連絡が来ることがあります。くれぐれも遅れることのないように注意しましょう。

### 【日本大学の場合】

**☆法学部:** ①TOEIC講座の動画を視聴する。②指定されている法律関連の本(学科によって異なる)を読み、法律に関連する講座を受講する。

**☆スポーツ科学部:** ①「あなたにとって『今』競技力向上に必要な要素とは？」というテーマでレポートを書く。②「TOEIC Bridge L&R IPテスト」と「GPS-Academicテスト」の受験(英語科目のクラス分けに利用される)。

**☆経済学部:** ①経済に関する本を読んで感想文(760~800字)を書く。②ネットで受講するTOEICについての課題。

**☆商学部:** 英語や商学、経営学、経済学、会計学の基礎的な内容および商学・経済学を学ぶための数学の授業をオンライン形式で受講する。

**☆生産工学部:** 入学準備プレテスト(数学)を受験し、その結果に伴って送られてくるコース別課題にそれぞれ取り組む。

**☆生物資源科学部:** ①各学科の指定した科目について送付された問題を解く。②各学科の課題図書に関する感想文を書く。

**☆理工学部(土木工学科):** ①土木構造物の調査(A4サイズレポート6枚程度)②「力学の基礎」の基礎課題(参考資料を見て、演習課題に解答する)③自然災害や事故等に対する社会基盤の役割(A4サイズレポート4枚以上)

### 【他大学の場合】

**★学習院大学文学部ドイツ語圏文化学科:** ①課題図書を読み、400字程度に感想をまとめる。②新聞記事からドイツ語圏およびヨーロッパに関係する記事を探しスクラップブック(デジタル・紙媒体ともに可)を作成する。

**☆上智大学理工学部:** 「改訂版 チャート式基礎からの数学III」(数研出版)を手に入れた上で、新たなノートを用意して指定の課題範囲を解く。

**★東京理科大学:** ①問題集(数学)をノートに解き、答え合わせをして提出する。②課題図書の感想文を書く(原稿用紙3枚程度)。

**☆東京都市大学理工学部:** 学部が開講している講座(「数学II・B+数学III」、「応用物理」、「TOEIC基礎講座」、「TOEIC標準講座」)から3つ選択し受講する。

**★立教大学コミュニティ福祉学部:** ①英語課題について自分のレベルに合ったものを選択し、修了要件を満たすまで取り組む。②課題図書を読み、学部学科の〈学び・教育内容・科目〉に即して感想文を書く。

**☆芝浦工業大学システム理工学部:** ①共通テストの受験②eラーニング(数学、物理、英語、TOEIC)の受講。

## 「評定平均値」を理解しよう!

進路について担任の先生や教科担当の先生と話をしているときに「評定」という言葉を聞くことがあると思います。「評定」は各種の推薦入試で出願要件の一つとして利用されることが多いものですが、皆さんは具体的に「評定平均値」というのはどのように算出されているか正しく知っていますか?

今回は評定平均値の求め方などについて紹介します。

### ☆そもそも「評定」って何??

「評定」とは、それぞれの科目で出される評価を総合的に判定して出される数値のことです。「総合的な評価」を基に算出されるので定期テストの結果はもちろん、平常点も含んだ結果となります。本校では5段階で評定が出され、年度末に成績通知表で確認することができます。

### ★評定平均値の求め方は??

評定平均値の求め方は至って簡単で、高校で履修した全科目の評定を合計し、その科目数で割るだけです。ただし、ここで気を付けてもらいたいことは「**高校3ケ年**の評定の平均」ということです。つまり、**高1・2の成績も評定平均値に入る**ということです。

次の表を使ってシミュレーションをしてみましょう。

高1では、次のような成績だったとします。なお、科目名は略称で表記しています。

科目名	現国	言語文化	地理総合	歴史総合	公共	数学I	数学A	物理基礎	化学基礎	生物基礎	体育	保健	英コミI	論・表I
評定	4	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	5	4

評定を合計すると「48」です。これを科目数の「14」で割ります  $48 \div 14 = 3.42\cdots$  よって高1での評定平均値は「**3.4**」となります。

高2では、文系進学に在籍し、地歴公民は日本史探究、芸術は音楽Iを選択して次のような成績だったとします。

科目名	論理国語	古典探究	日史探究	数学II	数学B	体育	保健	音楽I	英コミII	論・表II	家庭基礎	情報I
評定	5	4	4	3	3	4	4	5	5	5	5	4

評定を合計すると「51」です。これを科目数の「12」で割ります。  $51 \div 12 = 4.25$  よって、高2での評定平均値は「**4.3**」となります。

高1では「3.4」だった評定平均値が、高2では「4.3」となりました。しかし、評定平均値は**履修したすべての科目を使って求めます**。

高1・2の評定の合計「48+51=99」を、高1・2の科目数の合計「14+12=26」で割ります。  $99 \div 26 = 3.80\cdots$

よって、高2時点での評定平均値は「**3.8**」となります。

評定平均値は思った以上に上がりにくいということを理解してもらえたでしょうか。ちなみに、上記の生徒が仮に高3で「オール5」をとったとしても、評定平均値は「**4.1**」までしか上がりません。

つまり、高1から地道に努力しなければ評定平均値を上げることは難しいということです。

高1・2の皆さんにとって、今年度の評定を上げるために残されたチャンスは、**第5回定期テストと3学期の平常点のみ**です。

早くに試験勉強に取り組んでいれば…、課題を出してれば…、あの評定が2じゃなくて3だったら…、日大の付属特別選抜や他大学の指定校推薦に出願することができたのに…!!と後悔することのないように、入試期間のお休み等を有効に活用して勉強に励んでもらいたいと思います。



## 大学入学共通テスト結果概況

1月13日(土)、14日(日)の両日、令和6年度大学入学共通テストが実施されました。全体の志願者数は491,914人(対前年度20,667人減)となりました。本校からも79人が志願し、15日(月)には、視聴覚室にて自己採点を実施しました。受験生同士、登校日が少なくなっていくなかで、貴重な交流の場となりました。「河合塾」「駿台・Benesse」「東進」の3社へ自己採点結果を郵送し、17日(水)にはweb上で情報提供を受けることができ、20日(土)の登校日には印刷された分析結果を配付をしました。これから1ヶ月半ぐらいが勝負の期間になります。最後まで頑張りましょう！

教科名	科目名	受験者数	平均点	最高点	最低点	標準偏差
国語 (200点)	国語	432,991	116.50 (58.25)	200 (100)	0 (0)	35.33 (17.66)
	世界史 A	1,298	42.17	100	0	17.05
地理歴史 (100点)	世界史 B	75,838	60.28	100	0	21.55
	日本史 A	2,450	42.04	100	0	16.97
	日本史 B	131,269	56.27	100	0	16.88
	地理 A	2,066	55.78	100	0	17.26
	地理 B	136,914	65.74	100	0	15.04
	現代社会	71,959	55.94	100	0	14.96
公民 (100点)	倫理	18,192	56.44	98	0	13.90
	政治・経済	39,467	44.35	94	0	14.87
	倫理・政治・経済	43,810	61.26	100	0	13.22
	数学 I	5,333	34.63	94	0	16.69
数学 (100点)	数学 I・数学 A	339,018	51.38	100	0	20.73
	数学 II	4,495	35.44	92	0	17.42
	数学 II・数学 B	312,136	57.74	100	0	20.67
	簿記・会計	1,323	51.84	100	4	20.40
	情報関係基礎	380	59.14	98	17	16.92
	物理基礎	17,940	28.72 (57.44)	50 (100)	0 (0)	12.29 (24.58)
理科 (50点)	化学基礎	92,861	27.31 (54.62)	50 (100)	0 (0)	10.75 (21.50)
	生物基礎	115,280	31.57 (63.14)	50 (100)	0 (0)	9.22 (18.44)
	地学基礎	43,354	35.56 (71.12)	50 (100)	0 (0)	8.95 (17.90)
	物理	142,476	62.97	100	0	22.82
理科 (100点)	化学	180,716	54.77	100	0	20.95
	生物	56,571	54.83	100	0	17.98
	地学	1,787	56.67	100	0	19.82
外国語 (100点)	英語(リーディング)	449,117	51.54	100	0	19.94
	英語(リスニング)	447,330	67.24	100	0	17.11
外国語 (200点)	ドイツ語	102	129.79 (64.89)	200 (100)	13 (6)	48.04 (24.02)
	フランス語	91	124.30 (62.15)	200 (100)	27 (13)	49.60 (24.80)
	中国語	782	171.90 (85.95)	200 (100)	30 (15)	27.32 (13.66)
	韓国語	296	145.75 (72.87)	200 (100)	27 (13)	44.85 (22.42)

(注) 平均点、最高点、最低点及び標準偏差欄の( )内の数値は、100点満点に換算したものです。

## 高2 保護者対象進路講演会

2月14日(水)、高2の保護者の方々に向けた進路講演会を実施します。今年度はオンラインによる動画公開を予定しています。本校進路指導部より、日大付属推薦や他大学受験についてお話します。内容としては、文系・理系の費用の違いや、様々な補助の紹介も企画しています。なお、以下抜粋ではありますが、日大各学部の検定料や入学手続き時にかかる費用です。参考にしてください。

＜検定料(令和6年度入試)＞

医 60,000円・歯 50,000円・松歯 40,000円・その他の学部 35,000円

＜入学手続き時納入金(一部抜粋)＞

文系学部(学科)	入学手続き時納入金	理系学部(学科)	入学手続き時納入金
法学部	760,000円	理工学部(数学)	975,000円
文理学部(哲学)	775,000円	生産工学部	960,000円
経済学部	750,000円	工学部	960,000円
商学部	750,000円	医学部	4,350,000円
芸術学部(デザイン)	1,055,000円	歯・松戸歯学部	3,750,000円
国際関係学部	805,000円	生物資源(食品ビジ)	820,000円
危機管理学部	790,000円	薬学部	1,425,000円
スポーツ科学部	860,000円	短大(ビジネス教養)	660,000円

合格発表後は、生徒のみならず保護者の方々もホッと胸をなでおろす時期ではないでしょうか。しかし、入学時納入金の支払いが完了してようやく入学することができます。これらの費用が必要となるタイミングは、推薦進学の場合は高3の2学期(12月頃)、一般選抜で進学する場合は2月～3月となります。支払えない場合(考えたはありませんが…)、入学が取り消されてしまいます。各大学のホームページにも4年間の金額等が掲載されていますので、ぜひ一度確認してみてください。

## 総合的な探究の時間と進路

先日実施した高2の小論文テストは志望理由書でした。志望理由書は「現代社会には〇〇の問題があり、自分はそれについて△△という形で貢献したい。そのためには◇◇を学びたいので、この大学を志望する」という内容で書くことが指導がありました。高2の皆さんはお気づきでしょうか。これは、総合的な探究の時間と関連しています。

総合的な探究の時間では、①自ら課題を見つけ、②情報収集し、③集めた情報を整理・分析して解決を目指し、④それらをまとめて表現する、という活動を行います。これらの活動を通して、「社会課題を知り、その解決策を自分で考える」ことが、探究の時間の一つの大きな意義です。このように、社会課題を知り、主体的に考えることは、志望理由書に説得力を与えることにつながります。

また、実際の入試でも、探究の時間での活動が役立ちます。学習院大学の総合型選抜に「国際社会の課題について日本語で説明を求め、知識や関心を確認します」というものがあります。探究で「国際社会の課題」について探究した生徒であれば、問題の本質や解決策などをより具体的に論じることができます。また、面接試験では自己PRが求められる場面があります。例えば「環境を学びたい」と語った受験生が、SDGsに関する一般的な知識を述べるのか、探究で「海洋プラスチック問題」について調べ、実際に海にゴミ拾いに行った経験を語るのか、熱意の伝わり方が大きく違うことわかれると思います。

志望理由書や小論文、面接試験において、社会課題の本質的な理解や、具体的な行動歴を語れることは、良い意味で「目立つ」受験生になることができます。

大学が必要としているのは卒業後に社会に貢献できる人物です。探究の時間を通じて社会課題に真摯に向き合い、その解決に向けて主体的に考える。その経験が、自分が大学で学びたい学問分野を通して、自分がどのように社会に貢献できるか考え、発信できることにつながります。自分の将来の進路実現に向けて、総合的な探究の時間にも主体的に取り組まましょう。

## 2月の進路行事

2月6日(火) 日大チャレンジ特別進学模試 (高1・2) 日  
2月14日(水) 小論文テスト② (高1・2) 一  
2月14日(水) 高2 保護者対象進路講演会 (オンデマンド配信) 日直

2月6日(火)実施予定の日大チャレンジ特別進学模試は、4月の基礎学力到達度テストの前哨戦という位置づけです。多くの付属高校が参加するので、付属全体である程度の位置を知ることができます。Compass1月号で発表した出題内容を確認して、インフルエンザ等の感染対策を万全にして臨むようにしましょう。特に高2の受験科目には地歴公民・理科が入ってきます。基礎学以外では、付属校間での比較ができる唯一の機会になりますので、しっかりと取り組みましょう。

2月14日(水)の小論文テスト②は、高1が講演会(教室で視聴)＋小論文のリライト、高2が振り返りの時間に続けて志望理由書のリライトになります。今回は、前回の内容を踏まえての実施ですので、添削された答案を見て、納得した文章が書けるようにしてください。この小論文(志望理由書)対策というのは、総合的な探究の時間で行っている個人の課題とマッチしていることが好ましいです。このことも意識しながら進めるようにしましょう。

2月14日(水)、15日(木)、16日(金)の昼休みおよび放課後、高3の4月・9月に実施する基礎学力到達度テストの過去問題集を校内にて販売する予定です。高2には2月になりましたら案内を配布します。販売価格は、高3の4月/9月版が国語・数学は1,900円、英語・地歴公民・理科が2,000円となります。

次回3月号は、2月末に発行予定です